PRONEXUS × ラジオNIKKEI 共催

「企業IR＆個人投資家応援イベント」

会社のご紹介

戸田工業株式会社（証券コード:4100）

代表取締役社長執行役員

久保 恒晃

2025年2月8日

未来を支える粒子になる。

TODA

目次

- 環境に貢献する会社をめざして
- 戸田工業とは
- 2030年度「ありたい姿」実現にむけて

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

酸化鉄とは？

特性(機能)

無害性、安定性

① 色　(光学的特性)

② 磁性　(磁気特性)

③ 触媒活性　(化学的特性)

一般的な用途

【色】　着色　(壁画、陶器、建築材着色、道路 など)

【磁性】磁石、磁心　(モーター、インダクター、リアクトル など)

【触媒】触媒　(省エネ燃焼触媒、工業的製品の合成触媒 など)

戸田工業とは

・2023年に創業200周年を迎えた酸化鉄メーカー

・創業以来200年培った技術を、ルーツである顔料だけではなく、
自動車、ICT、スマートフォンや家電などの幅広い用途で最先端分野へも展開

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

環境に貢献する会社をめざして

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

環境ビジョン

・2019年、環境負荷低減の促進を目的に策定。

・「環境経営5本柱」を定め、循環型社会実現への取組みを推進。（2023年11月30日改定）

戸田工業WEBサイト
環境ビジョン

環境経営5本柱

01 生物多様性への取組み

事業活動・社会活動を通して生物多様性保全を目的とした活動を推進します。

02 温室効果ガスの削減

気候変動をマテリアリティと定め、温暖化を1.5℃に抑える世界を目指します。

03 水資源の保全

高純度・高機能な製品提供のための水資源の確保、事業継続のための排水品質の管理に取り組みます。

04 環境調和型製品・技術の提供

パーパスを実現するべく、微粒子合成技術でイノベーションの創出を支援します。

05 循環型社会形成への取組み

3Rの取組みを推進し、環境貢献・環境負荷低減のための国または地方公共団体が実施する施策に協力します。

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

温室効果ガス（GHG）の削減の取組み

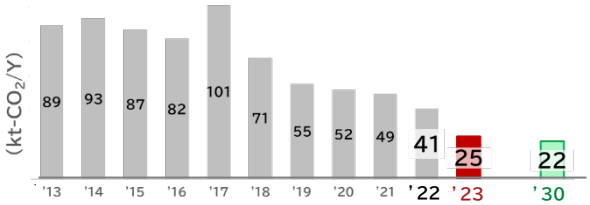
・気候変動をマテリアリティとして特定。

・3つの指標を持ちカーボンニュートラルの推進に取り組む。

戸田工業WEBサイト
マテリアリティ

指標	2022年度（実績）	2023年度（実績）	2030年度（目標）
GHG排出量（国内、Scope1,2）	41,067t	25,059t	**22,000t以下**
エネルギー原単位削減率（国内、2013年基準）	18%	24%	**17%以上**
再生可能エネルギー使用率（国内）	0%	47%	**17%以上**

GHG排出量の実績と目標（Scope1+2, 日本国内）



2023年度実施項目

・再生可能エネルギー100%の電力切り替え
・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言へ賛同
・インターナルカーボンプライシング運用

2030年度目標の達成に向けて

・CO_2排出量の少ないエネルギー源へ切り替え
・CO_2排出量の第三者認証取得
・海外子会社のGHG排出量算出

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

環境に貢献する製品、技術の提供

・温室効果ガスの低減に貢献する製品、技術の開発に取り組む。

・2027年以降、事業化し、2030年度　売上高10億円　営業利益1億円を目指す。

※メタンの温室効果は、CO_2の約28倍

温室効果ガス

大気・排ガス　二酸化炭素 CO_2

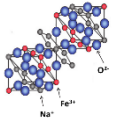
天然ガス　メタン※ CH_4

CO_2低減へのアプローチ

CO_2の回収・貯留・有効活用

CO_2の固体回収技術

ナトリウムフェライト（CO_2固体回収材）

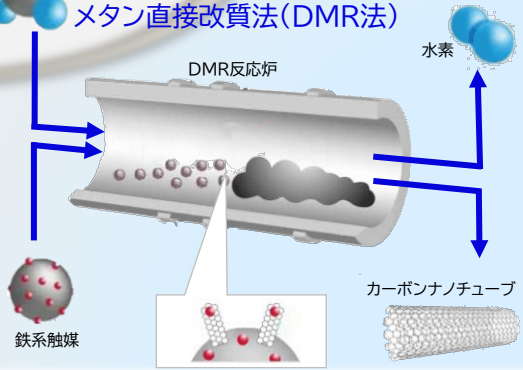


鉄、酸素、ナトリウムの層状化合物

CH_4低減へのアプローチ

未利用天然ガスを用いたクリーン水素の生成

メタン直接改質法（DMR法）



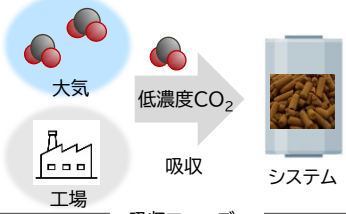
©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

CO_2の回収・貯留・有効活用

CO_2を資源に。世界一安いCO_2回収システムを目指す。（目標CO_2回収コスト:2,000円台/t-CO_2）

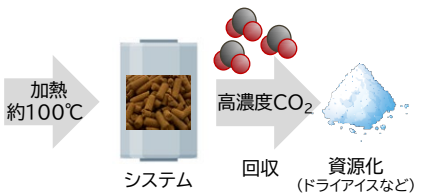
CO_2分離回収技術の開発

①工場のボイラー施設から排出される燃焼排ガスや大気中に含まれるCO_2を室温で吸収。

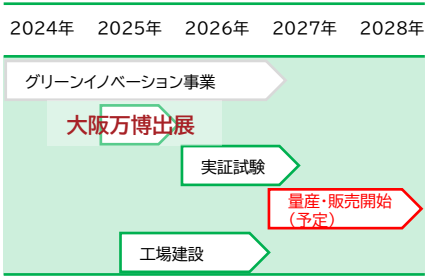


吸収フェーズ

②100℃程度の加熱で分離回収する固体回収材の開発を推進する。

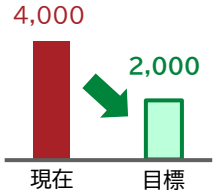


回収フェーズ



CO_2回収コスト

（単位:円台/t-CO2）



特長・強み

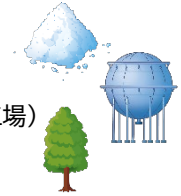
- 室温でCO_2を吸収可能
- 安価で調達リスクが低い
- 臭気がなく劣化に強い

主な用途

- 大気のCO_2吸着
  （DAC:直接空気回収技術）
- 排気ガスのCO_2吸着

回収したCO_2の活用事例

- ドライアイス
- 合成メタン
- 光合成（植物工場）



©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

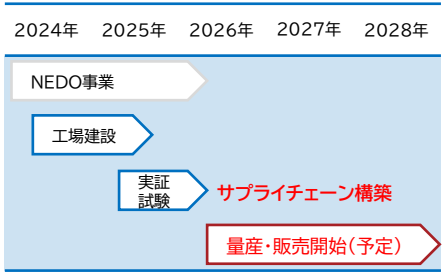
TODA

未利用天然ガスを用いたクリーン水素の生成

温室効果ガスを安価でクリーンなエネルギーに転換。（目標 水素製造コスト：30円/Nm³以下）

未利用天然ガスを活用した地域CO_2フリー水素サプライチェーンの構築

豊富町の温泉付随未利用天然ガスを有効活用し、メタン直接改質法（DMR法）により、
安価で高純度なクリーン水素を作り出し、地域 CO_2フリー水素サプライチェーンを構築する。



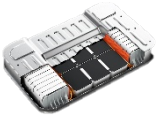
工場外観（2024年12月）

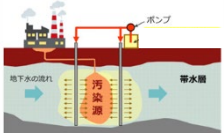
特長・強み

- 自社酸化鉄系触媒を使用
- 高純度で安価なCO_2フリー水素
- 高効率でCO_2フリー水素を製造
- 高導電性カーボンの製造
  （カーボンナノチューブ）

カーボンナノチューブの用途（一例）

- LIBへの導電助剤
- 土壌のPFAS除去





©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

戸田工業とは

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

パーパス

微粒子の可能性を、世界の可能性に変えていく。

私たち戸田工業グループが向き合っているのは、
素材としての粒子であり、社会であり、人です。

微粒子と人の可能性を信じ、
これからも世界を支える新しい可能性を作り続けていきます。

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

戸田工業グループのご紹介

私たちは広島県に本社を置く、酸化鉄を中心とした化学素材メーカーです。

業種	：無機化学品製造
資本金	：74.77億円
上場市場名	：東証スタンダード（証券コード:4100）

創業
202年目
（創業1823年）

従業員数
連結 1,112人
個別 377人

開発従事者
個別
約3分の1

売上高
262億円

営業利益率
0.4%

国内外拠点数
グループ
19か所

（注）2024年3月末時点

ベンガラ

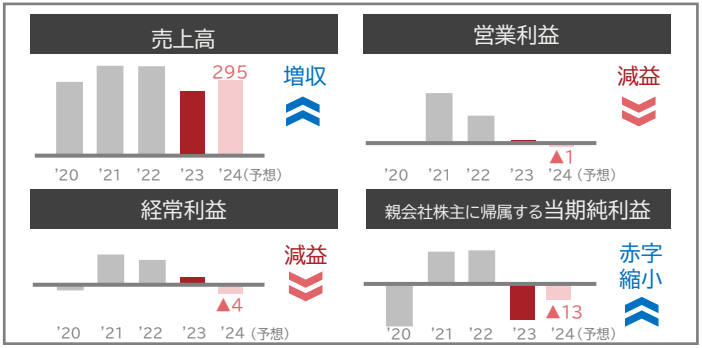
未来を支える粒子になる。

TODA

2023年ロゴ刷新

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

5か年　連結業績推移(実績・2024年度予想)、株価推移(2020年4月～2025年1月)



年度		2020年度(実績)	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(実績)	2024年度(予想)
営業利益率	(%)	0.0	7.1	3.9	0.4	▲0.3
ROE	(%)	▲ 42.2	30.3	23.1	▲ 24.1	
自己資本比率	(%)	19.5	24.2	30.5	25.8	
期末株価	(円)	2,164	2,891	2,538	2,119	
PBR	(倍)	1.53	1.34	0.92	0.88	
中間配当	(円)	0	0	0	0	0
期末配当	(円)	0	0	0	0	0

【配当について】当社は、安定的な配当を継続することを最も重視しております。一方で、経営成績・内部留保の充実等も併せて勘案し、総合的に判断して決定することを基本方針としております。財務状況の改善に取り組んでおりますが継続的に安定配当を実施するための基盤構築が完了していないことから、配当を見送っており、復配できる体制を整え、安定的に利益還元を行えるよう取り組んでまいります。

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

事業の紹介　～事業フィールドと素材製品群～

電子素材セグメント

事業フィールドと主な用途

自動車

26%※

- モーター、センサー
- 電子部品
- リチウムイオン電池
- コーティング
- ブレーキパッド

家電・ICT

41%※

- 家電用モーター
- スマートフォン用部品
- ウェアラブル用部品

機能性顔料セグメント

事業フィールドと主な用途

塗料

12%※

- 船底用防錆顔料
- 建築・建材用顔料
- 事務機器用顔料

複写機・プリンター

13%※

- トナー、キャリア
- マグロール

環境・住生活

8%※

- 燃焼触媒
- 汚染土壌改良剤
- 機能性吸着材

(※)2024年度 連結売上高(予想)構成比

磁石材料

誘電体材料

軟磁性材料

LIB用材料

ハイドロタルサイト

着色顔料

トナー用材料

触媒など

環境関連材料

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

TODA

連結売上高　事業セグメント別構成比（2024年度 予想）

電子素材 211億円

- 酸化鉄以外の無機材料中心
- 「成長事業」として今後注力

磁石材料

車載用小型モーター

LIB用材料

LIB正極材料

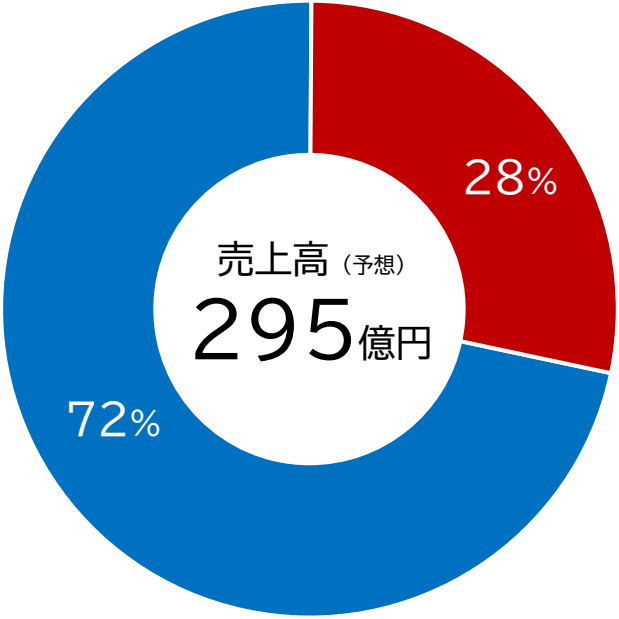
エアコン　ファンモーター

誘電体材料

コンデンサー用
チタン酸バリウム

軟磁性材料

インダクター



機能性顔料 83億円

- 酸化鉄を中心とした材料
- 創業時からの「事業基盤」

着色顔料

船底塗料

複写機・プリンター用
トナー

環境関連材料

ダイオキシン
抑制燃焼触媒

磁気記録材料

LTOテープ

環境関連材料（開発）

CO_2固体回収材

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

連結売上高　材料別構成比（2024年度 予想）

電子素材 211億円(72%)

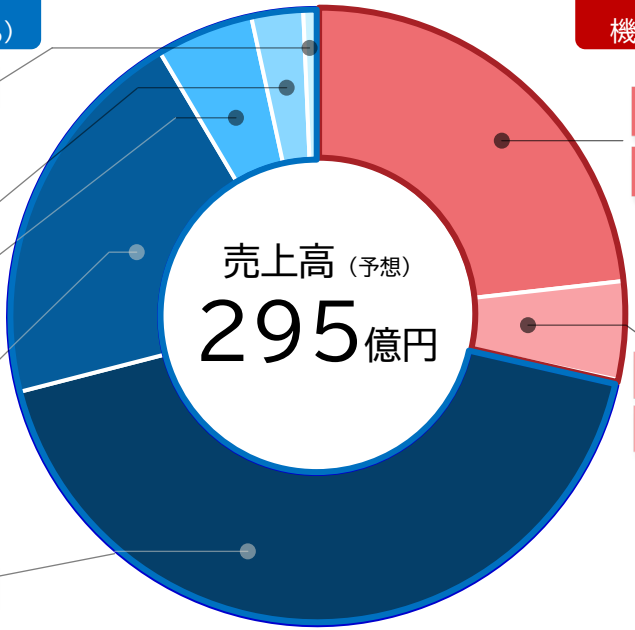
LIB用材料
2億円(1%)

ハイドロタルサイト
8億円(3%)

誘電体材料
15億円(5%)

軟磁性材料
60億円(20%)

磁石材料
125億円(43%)



機能性顔料 83億円(28%)

着色顔料

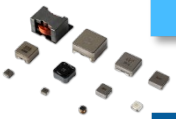
トナー用材料

68億円(23%)

触媒など

環境関連材料

15億円(5%)



©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

2030年度「ありたい姿」実現にむけて

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

これまでの事業ポートフォリオマネジメントの取組み（材料別の売上高推移(1990年代～2020年代)）

■ 電子素材：酸化鉄以外の無機材料中心　　■ 機能性顔料：酸化鉄を中心とした材料

着色顔料

船底塗料

環境関連材料

ダイオキシン
抑制燃焼触媒

磁石材料

車載用
小型モーター

エアコン
ファンモーター

LIB用材料

LIB正極材料

誘電体材料

コンデンサー用
チタン酸バリウム

軟磁性材料

非接触通信用
フェライトシート

環境関連材料(開発)

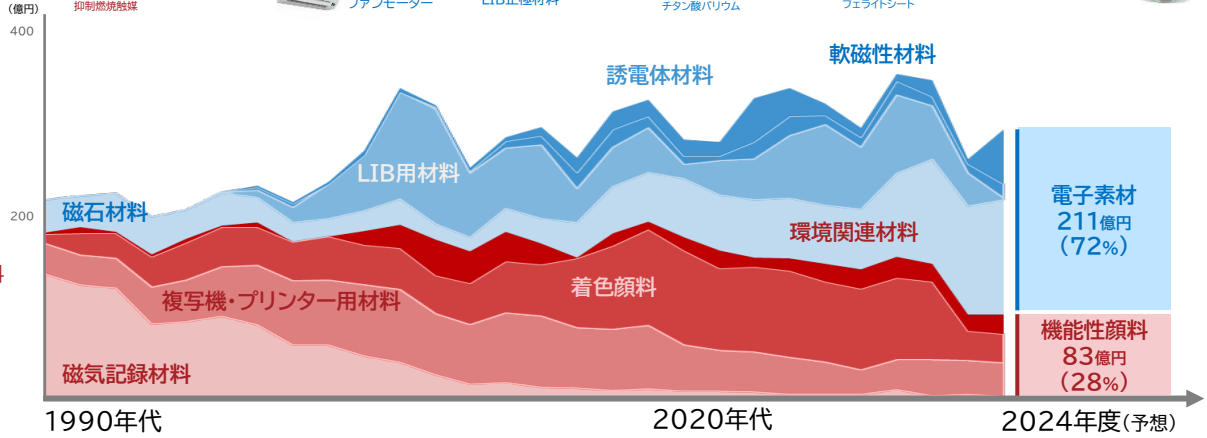
・CO_2フリー水素・CNT

・CO_2固体回収材

複写機
プリンター用
トナー

磁気記録材料

磁気テープ

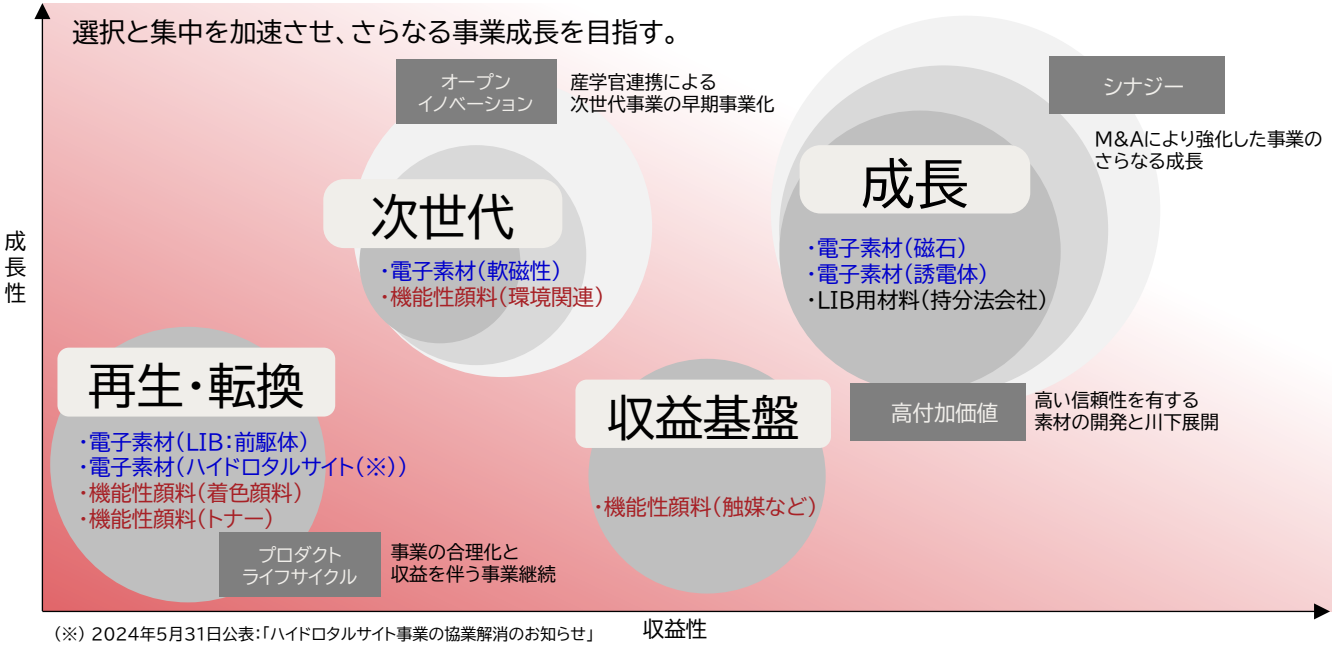


(※) エンジニアリング事業除く。2021年度以降　新会計基準で表記

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

TODA

事業ポートフォリオマネジメントの強化



（※）2024年5月31日公表：「ハイドロタルサイト事業の協業解消のお知らせ」

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

ありたい姿

戸田工業グループは、サステナビリティの考え方を「企業と社会・地球の生々発展」と定義
サステナビリティに基づき中期経営計画を策定し、2030年度のありたい姿を達成していく

サステナビリティの考え方
「企業と社会・地球の生々発展」

1 革新的な微粒子合成技術による未来社会への貢献

2 持続可能なサプライチェーンの構築

3 より良い企業市民、より良い社会の公器

Vision2023
2023年度 実績

営業利益率	0.4%
ROE	▲24%
自己資本比率	26%
CO_2排出量（国内・Scope1＋2）	25,059t（※）2013年度対比72%削減相当

Vision2026
2026年度 計画

営業利益率	5%
ROE	11%
自己資本比率	29%
CO_2排出量（国内・Scope1＋2）	26,500t（※）2013年度対比70%削減相当

ありたい姿
2030年度 目標
（マテリアリティKPI）

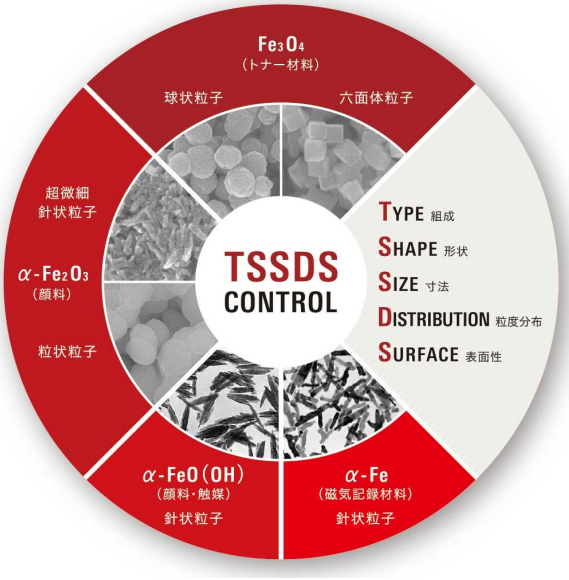
営業利益率	8%以上
ROE	10%以上
自己資本比率	40%以上
CO_2排出量（国内・Scope1＋2）	22,000t以下（※）2013年度対比75%削減相当

Mission“事業ポートフォリオマネジメントの強化”

（※）2013年度CO_2排出量：約89,000t

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

戸田工業の技術的強み　～200年で培った微粒子合成技術～



・当社の扱う微粒子のサイズは、数ナノメートルから数十マイクロ メートル（1 ミリメートルの1/100 万から1/100 の大きさ）

・微粒子設計の重要な特性を制御する技術「TSSDS CONTROL」

・粒子の「Type（組成）」、「Shape（形状）」、「Size（寸法）」、「Distribution（粒度分布）、「Surface（表面性）」を制御

・新たな開発においてもこの技術を継承

事例紹介「誘電体材料」製法の違いによる粒子サイズ

水熱合成法（当社製法）　シュウ酸塩法　固相法

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

価値創造プロセス

外部環境

【政治】
地政学リスクや環境等の規制強化

【経済】
グローバル経済・自動車業界構造の変化

【社会・環境】
脱炭素、安全要求、ヘルスケアニーズの拡大
鉱物供給不安

【技術】
電子デバイス・電池技術の進化やAI・ロボット・ドローンの社会実装

資本

財務資本
株主資本 138億円
借入資金 273億円

製造・設備資本
国内生産拠点 3事業所
海外生産拠点 4か国

知的資本
特許保有件数 818件
内、国際特許 60%

人的資本
従業員数 1,112人
海外従業員比率 57%
低離職率 2.1%
従業員に占める研究開発者の割合 27%

社会・関係資本
強固な顧客基盤
多様なビジネスパートナー
大学研究機関との共同開発
他業種廃棄物を原料転用するためのサプライチェーン

自然資本
鉄・重要鉱物・水

事業活動

当社の強み・源泉
"すり合わせ力"

「創造力」、
「モノづくり力」、
「営業力」を
一体として
活動することで
生まれる
「すり合わせ力」により
お客様や
社会の課題を見極め、
価値を提供する。

アウトプット

	主力事業	次世代事業	注力市場
電子素材事業	磁石材料 誘電体材料 LIB用材料	軟磁性材料	モビリティ 環境 ヘルスケア
機能性顔料事業	機能性顔料	環境関連材料	

アウトカム

顧客
高信頼性・高品質
小型化
大容量・高効率
環境
スピード

取引先
生産量拡大
取引先の資源
循環への貢献

環境
資源効率向上
GHG排出量低減
サーキュラーエコノミー

従業員
より良い企業市民
ウェルビーイング

株主・金融機関
株主価値向上

地域
雇用・納税

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

TODA

事業の紹介 ～事業フィールドの拡大事例～

・微粒子合成技術を基盤に、素材の川上まで遡り、幅広い研究開発、製造技術開発。川下への展開も推進。

・川下のお客様と共に本質に迫る「すり合わせ力」を重要な要素とし、継続的で密なコミュニケーションを通じて共に成長を図る。

サプライチェーン 例

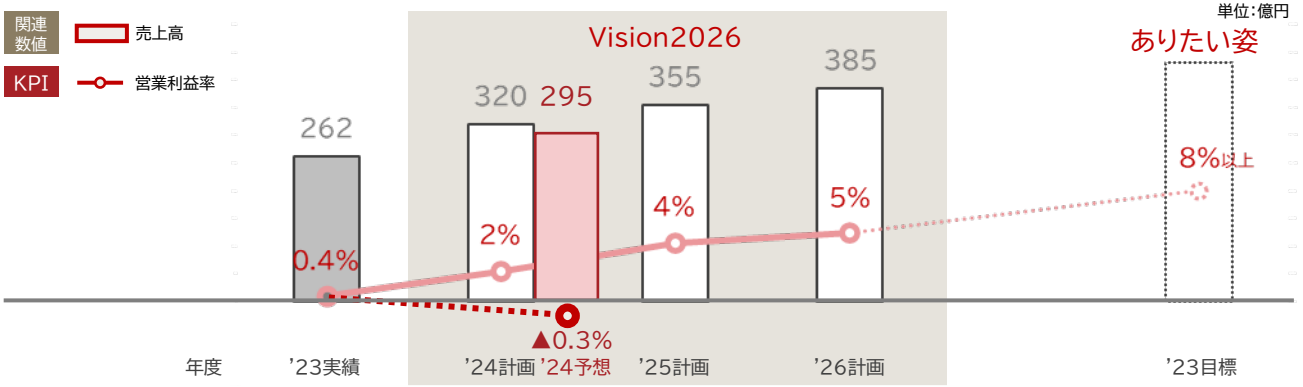
©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

「Vision2026」 事業計画と推移

2024年度見込み

・売上高：磁石、誘電体、軟磁性材料は、需要が好調に推移。戸田マテリアルズ株式会社（韓国）を連結子会社化したこと等により増収。

・利　益：体質強化により収益改善するものの、EV市場の成長鈍化の影響により、LIB用材料関連の連結子会社の業績が減速し減益。

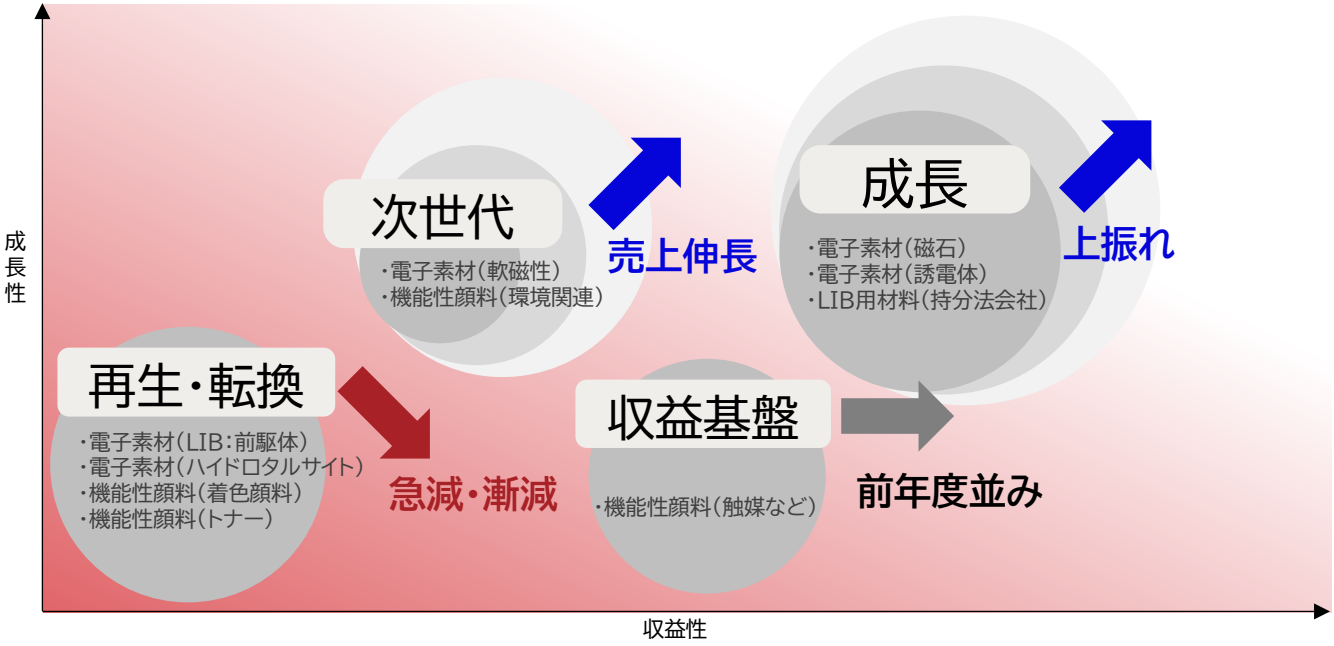


		'23実績	'24計画	'24予想	'25計画	'26計画	'23目標
KPI	ROE	▲24%	6%		11%	11%	10%以上
KPI	自己資本比率	26%	26%		27%	29%	40%以上
	営業利益	1	7	▲1	15	19	

（※）「Vision2026」前提条件　為替レート：140円/ドル

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

事業ポートフォリオマネジメントの強化　進捗概要



©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

2024年度　材料別業績予想

・LIB用材料関連のグループ会社の再構築を進め、また戸田工業(個別)の体質強化を加速させる。

単位:億円

位置付け	セグメント	材料	用途	2023年度(実績)		2024年度(予想)		前年同期比		
				売上高	営業利益率	売上高	営業利益率	売上高	営業利益率	
成長	電子素材	磁石材料	家電、自動車等向け モーター、センサー	118	8%	125	8%	+7	+0ポイント	→
	電子素材	誘電体材料	スマホ、EV等向け 電子部品用コンデンサー	10	▲12%	15	7%	+5	+19ポイント	↗
	電子素材	LIB用材料 (正極材料)	EV向けLIB	持分法適用関連会社にて実施				−	−	
収益基盤	機能性顔料	触媒など	・石油化学製品等の 合成用触媒 ・摩擦材　・記録材 ・燃焼促進　・環境浄化	11	7%	15	6%	+4	△1ポイント	→
次世代	電子素材	軟磁性材料	インダクティブデバイス	5	▲60%	60	0%	+55	+60ポイント	↗
	機能性顔料	環境関連材料 (開発)	・CO_2フリーの 高濃度水素、CNT製造 ・CO_2分離回収	研究開発フェーズ。2027年度以降、事業化予定				−	−	
再生・転換	電子素材	LIB用材料 (前駆体)	EV向けLIB	36	16%	2	▲314%	△34	△330ポイント	↘
	電子素材	ハイドロタルサイト	塩ビ安定剤	11	▲25%	8	▲21%	△3	+4ポイント	→
	機能性顔料	着色顔料・ トナー用材料	・路面、建材の着色 ・複写機/プリンター	69	▲10%	68	▲7%	△1	+3ポイント	→

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

TODA

「統合報告書2024」を発行

概要

・経営戦略を基軸に財務・非財務活動を掲載
・当社グループの持続的な成長に向けて創造する「価値」、
　価値創造を実現する「強み」についてご紹介

「統合報告書2024」主な構成

・TOP MESSAGE
・中期経営計画「Vision2026」
・価値創造プロセス
・事業別戦略
・マテリアリティへの取組みの進捗
・ESG 経営の推進状況

「統合報告書2024」は、当社 WEB サイトよりご覧いただけます。

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基き算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

また事業セグメントを構成する材料別の売上高は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので参考値とご承知おきください。

©TODA KOGYO CORP. all right reserved.